

Ⅲ 実務研修

本試験の合格者は、各人の申込に基づき、東京都介護支援専門員実務研修を受講することができます。東京都介護支援専門員実務研修の実施については、東京都が指定した研修実施機関から、合格者に対して別途ご案内します。なお、研修及び資格登録等についても、当財団ケアマネ研修担当までお問い合わせください。

(電話：03 - 3344 - 8512)

1 実務研修の目的

介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員を養成することを目的としています。

2 実施主体

公益財団法人東京都福祉保健財団

(当財団は、介護保険法第69条の33第1項に基づき東京都知事の指定を受けた「指定研修実施機関」です。)

3 研修時間、研修内容

- ① 87時間の講義及び演習を前期8日、後期7日に分けて実施します。
- ② 前期と後期の間に居宅介護支援事業所で3日間の実習を行います。(実習の詳細は合格者の方にご案内します。)

4 研修実施時期

実務研修は、令和3年1月から12月までの間に実施の予定です。

研修実施時期に合せ、受講者を募集します。

研修には定員があります。

第1期は、居宅介護支援事業所等で介護支援専門員として勤務することが決まっている方を優先します。ただし、定員を上回る申込みがあった場合には、第1期【令和3年1月～3月(実施予定)】に研修を受講できない場合があります。

募集区分	募集時期(予定)	受講期間(予定)	介護支援専門員証交付時期(予定)
第1期	令和2年12月2日(水)以降	1～3月	4月以降

※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施時期が変更になる可能性があります。

予めご了承ください。

第2期以降の実施については未定です。詳細は合格者に対して別途ご案内します。

5 実務研修受講料

52,800円(東京都福祉保健局関係手数料条例第4条第3項に規定する金額)

6 実務研修の受講手続き

- ① 受講案内の送付(令和2年12月2日(水)以降を予定)
- ② 各期の申込〆切日までに受講申込書を送付
- ③ 受講決定
- ④ 受講料振込
- ⑤ 実務研修の受講

7 介護支援専門員として勤務するには

実務研修を修了したら、3か月以内に「介護支援専門員資格登録簿」に登録をします。介護支援専門員の業務を行うには、加えて「介護支援専門員証」の交付を受けなければなりません。

介護支援専門員資格登録簿に登録し、介護支援専門員証の交付を受けるには、申請手続きが必要です。手続きについては、実務研修受講中にご案内します。

(東京都福祉保健局関係手数料条例に基づき、介護支援専門員登録申請手数料として1,500円、介護支援専門員証交付手数料として1,000円が別途必要です。)

なお、介護支援専門員証の有効期間は、5年間です。有効期間を更新するには、所定の研修を受講しなければなりません。

《参考》介護支援専門員実務研修内容（予定）

介護保険法施行規則第113条の4第3項に基づき厚生労働大臣が定めた基準に沿って実施します。

日程		科目	形式	時間
1日目	DVD	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	講義	3時間
		ケアマネジメントに係る法令等の理解	講義	2時間
2日目		自立支援のためのケアマネジメントの基本	講義・演習	6時間
3日目	DVD	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	講義	2時間
		ケアマネジメントのプロセス	講義	2時間
4日目		相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎①	講義	1時間
		相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎②	講義・演習	3時間
		利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	講義・演習	2時間
5日目	DVD	介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	講義・演習	2時間
		地域包括ケアシステム及び社会資源	講義	3時間
6日目		ケアマネジメントに必要な医療との連携及び他職種協働の意義	講義	3時間
		受付及び相談並びに契約	講義・演習	1時間
7日目		アセスメント及びニーズの把握の方法	講義・演習	6時間
		居宅サービス計画等の作成	講義・演習	4時間
8日目		サービス担当者会議の意義及び進め方①	講義・演習	2時間
		サービス担当者会議の意義及び進め方②	講義・演習	2時間
		モニタリング及び評価	講義・演習	4時間
実習		実習オリエンテーション	講義	1時間
9日目		ケアマネジメントの基礎技術に関する実習	実習	
		実習振り返り	講義・演習	3時間
10日目	DVD	基礎理解	講義・演習	3時間
		脳血管疾患に関する事例①	講義	2時間
11日目		認知症に関する事例①	講義	2時間
		脳血管疾患に関する事例②	講義・演習	3時間
12日目	DVD	認知症に関する事例②	講義・演習	3時間
		筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例①	講義	2時間
		内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例①	講義	2時間
13日目		看取りに関する事例①	講義	2時間
		筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例②	講義・演習	3時間
14日目		内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例②	講義・演習	3時間
		看取りに関する事例②	講義・演習	3時間
15日目		アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	講義・演習	5時間
		研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	講義・演習	2時間
計				87時間

※1 日程欄の右隣に「DVD」とある講義は、自宅でDVD視聴により履修することができます。

※2 8日目と9日目の間の「実習」は記載の研修時間とは別に行います。

【注意】

介護保険法第69条の2第1項各号（P.22参照）に該当する場合は、当該試験の受験及び介護支援専門員実務研修の受講は可能ですが、介護支援専門員登録簿への登録ができませんので、ご注意ください。